

知ろうAMR、考えようあなたのクスリ

# 薬 剤 耐 性

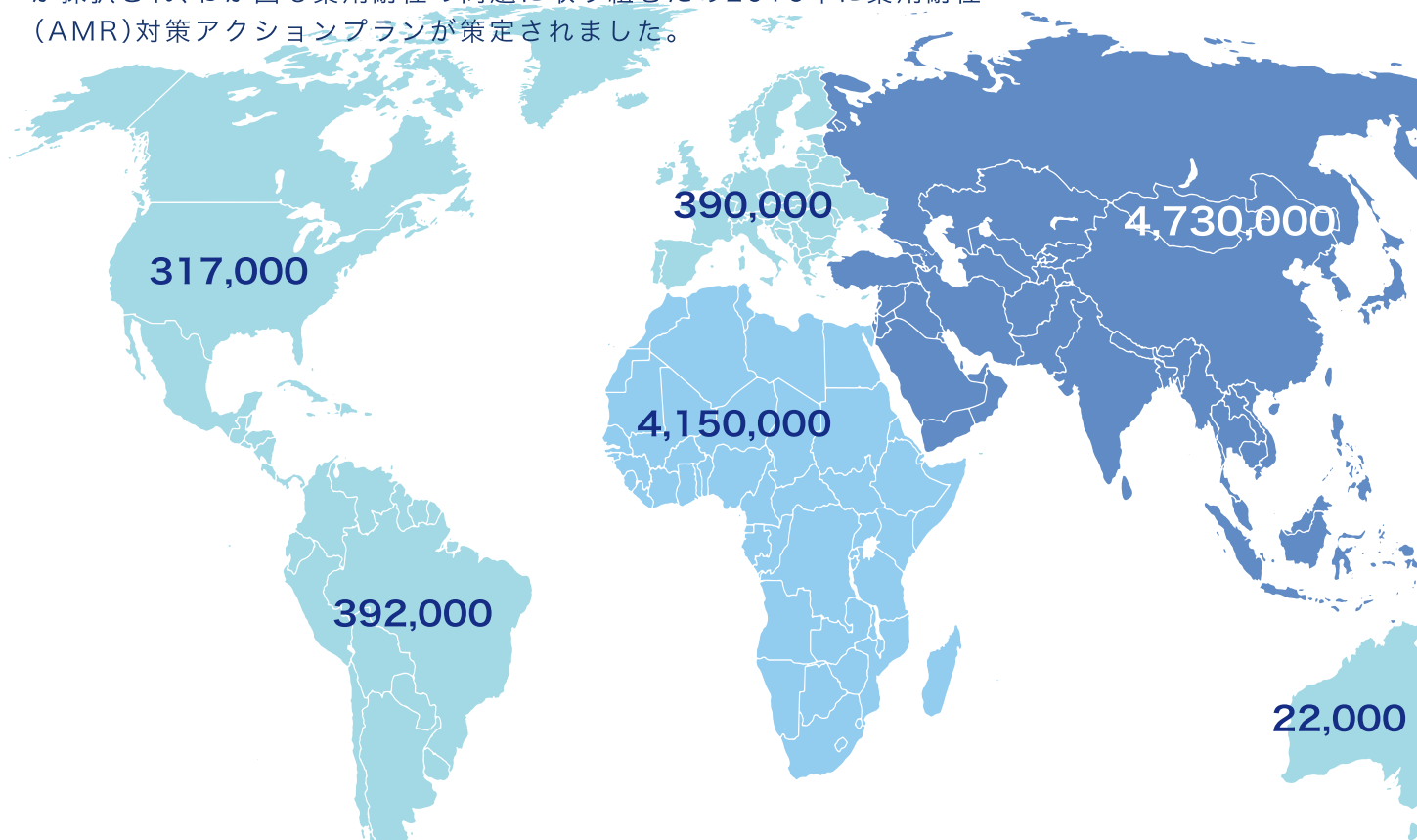
Antimicrobial Resistance: AMR



# 薬剤耐性の脅威を知っていますか？

薬剤耐性とは、抗菌薬の使用に伴って病原体が変化し、特定の種類の抗菌薬・抗生物質が効きにくくなる、または効かなくなることです。現在、薬剤耐性によって世界では年間70万人が死亡しています。このまま何の対策も講じなければ、約30年後には1,000万人が死亡すると予想され、がんの死亡者数を上回ります。

世界保健機関(WHO)総会で、2015年に薬剤耐性に関する国際行動計画が採択され、わが国も薬剤耐性の問題に取り組むため2016年に薬剤耐性(AMR)対策アクションプランが策定されました。



## 薬剤耐性による 予想死亡者数(2050年)

※The Review on Antimicrobial Resistance のホームページより引用

## ! 薬剤耐性リスク診断

- Q.1** 抗菌薬・抗生物質とはどんな薬か知っていますか？  
YES / NO
- Q.2** 処方された薬を飲み残したり  
とっておいたことがありますか？  
YES / NO
- Q.3** 風邪やインフルエンザの時に  
抗菌薬を飲んだことがありますか？  
YES / NO
- Q.4** 家族や知人からもらった抗菌薬を  
飲んだことはありますか？  
YES / NO



Yesがあれば中を読んでもみましょう

# 「風邪をひいたら抗菌薬」 というわけではありません。



## 抗菌薬はどんな時に使うの？

「風邪をひいたらお医者さんに行って抗菌薬をもらおう…」そんなふうに思っていないですか？  
実は抗菌薬(抗生物質)は風邪やインフルエンザのウイルスには効きません。  
細菌とウイルスは違う性質を持ち、大きさ、構造、増え方などが異なります。  
抗菌薬は細菌に有効な薬なのです。

### 細菌



大きさ  
0.001mm

**細菌による病気**  
肺炎、中耳炎、膀胱炎など

### ウイルス

大きさ  
0.00001mm

**ウイルスによる病気**  
風邪(感冒)、インフルエンザ、  
風疹など

## 抗菌薬を正しく理解しましょう。



### 抗菌薬の効果

ウイルスが原因の  
病気には効きません



### 副作用

下痢・嘔吐・発疹などの  
副作用をおこすことが  
あります



### 薬剤耐性へのリスク

必要のない抗菌薬の服用  
は薬剤耐性菌の発生に  
つながります

症状によって必要な  
対応は異なります。

### 症状

### 抗菌薬の使用



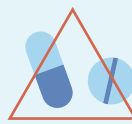
**風邪  
(感冒)**



**不要**



**はな  
(急性鼻副鼻腔炎)**



**中等～重症は  
使用検討**



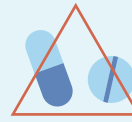
**のど  
(急性咽頭炎)**



**A群溶連菌に  
よる場合は必要**



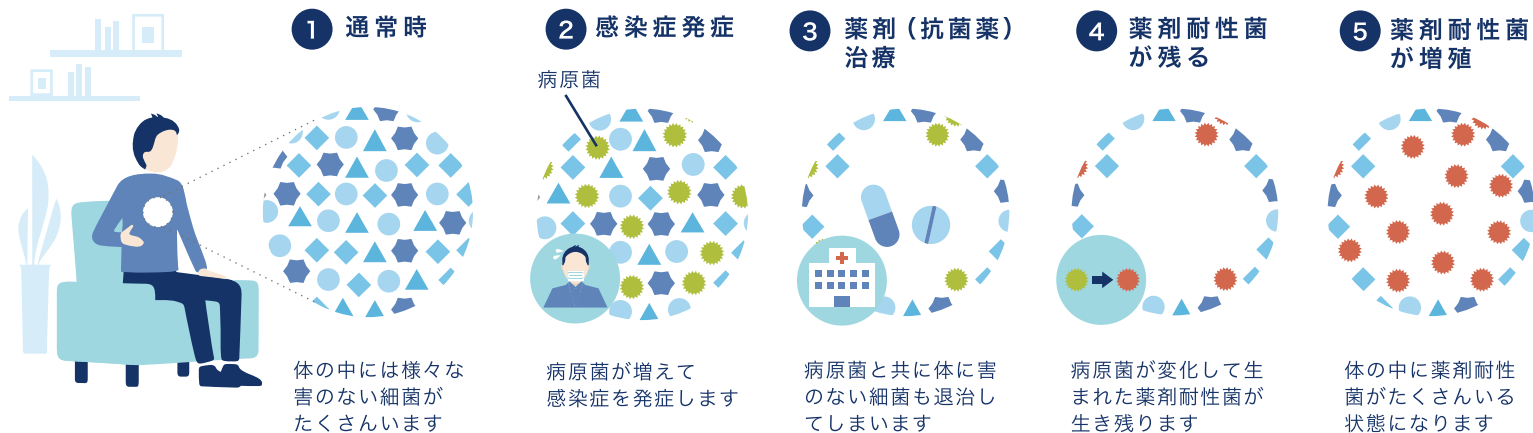
**せき  
(急性気管支炎)**



**百日咳を除き  
成人は不要**

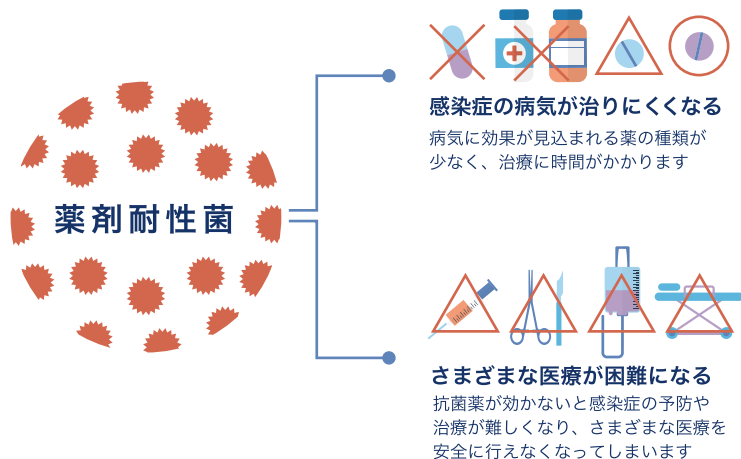
診察を受けた医師の指示に  
したがってください。

# ⚠ クスリが効かないのは薬剤耐性菌のためかもしれません

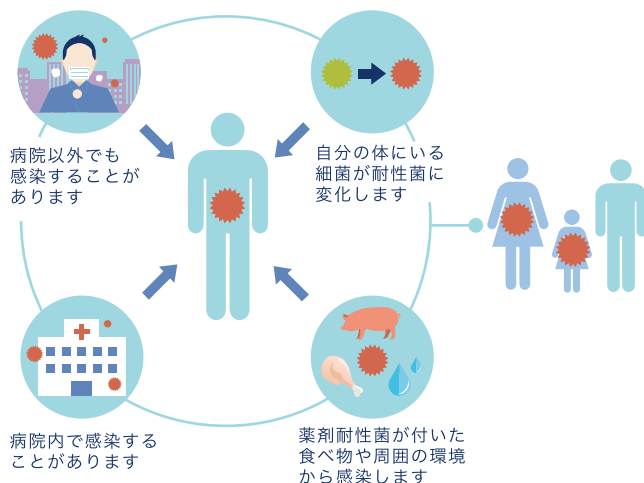


※いつも薬剤耐性菌に置き換わるわけではありませんが、抗菌薬を使うほどその機会が増えてしまいます。

## 薬剤耐性菌の主な影響



## 薬剤耐性菌はどこからくるの？



# 薬剤耐性の予防策



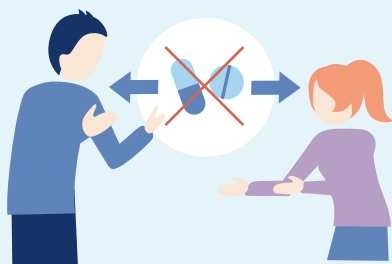
抗菌薬は医師の指示通り飲み切りましょう



抗菌薬をとっておかない



抗菌薬には医師の処方箋が必要です



抗菌薬をあげたりもらったりしない



わからないことは医師や薬剤師に聞きましょう

## ！すぐできる！ 3つの予防策



ワクチン接種



手洗い

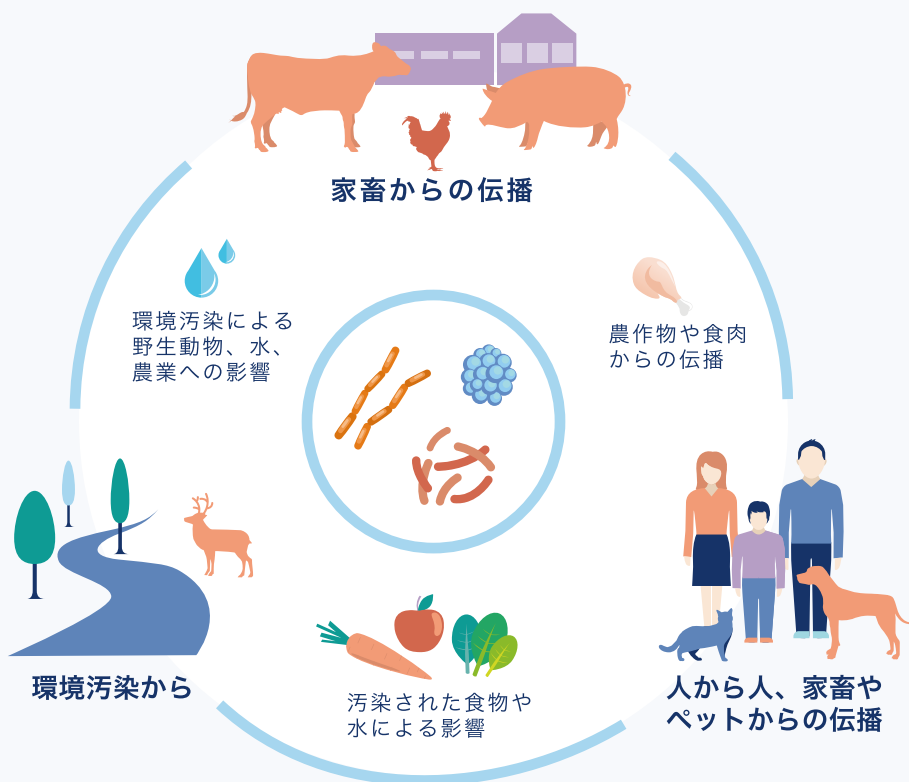


咳エチケット

# 薬剤耐性は人だけの問題 ではありません。

抗菌薬は、人のほかに動物の医療や畜水産、農業など、さまざまな分野で使われています。そのため人以外で発生した薬剤耐性菌の遺伝子が、食品や環境などを介して人へ伝播する可能性があります。

人だけでなく、動物、環境も同じように健康であるために、これらの衛生管理に関わる人々がそれぞれの分野を越え、連携して薬剤耐性対策に取り組んでいくことを「ワンヘルス・アプローチ」といいます。



国立研究開発法人  
国立国際医療研究センター病院  
AMR臨床リファレンスセンター  
<http://amrcrc.ncgm.go.jp>  
<http://amr.ncgm.go.jp>